

風評被害とは

事故や事件の後、根拠のない噂や憶測などで発生する経済的被害（出典：オックスフォード ランゲージズ）のことです。根拠のない言説が広がり、それを信じ込んでしまった人々が、風評被害を受けている食料品等の購入を控えてしまうことで生じます。特に福島県は、東日本大震災後の原発事故の科学的な根拠が不確かな情報による不安から、福島県に行くことを控えたり、福島県産の食べ物を避けるといった風評や、いわれのない偏見や差別が今なお残っています。

それでは、今後、風評被害を払しょくするにはどうすればよいのでしょうか。

- ①放射線の正しい知識を知ってもらう。
- ②一部の報道内容の情報だけではなく、多くの情報を収集し、きちんと自分で考えてもらう。
- ③風評被害を受けている人たちの気持ちになって物を見て考えてもらう。

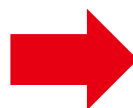
このように、一部の情報に左右されない冷静な態度や、確かな情報を知ること、風評被害を受けている人たちに寄り添うなど、一人ひとりが行動し、これ続けることで「安心」につなげることが大切であると考えます。

風評被害の払しょくを
健康不安の軽減について



では、具体的にどのような行動をしていけばよいのでしょうか。

行動①正しい知識を深めよう



もっと知ってみませんか？

＜放射線に関する出前講座のご案内＞

市では「放射線健康講座」と題し、生涯学習課のまちづくり出前講座を実施しております。放射線の専門家が指定いただいた会場に出向き、不安や疑問を抱えているいろいろなことにお答えします。地域のグループやサークル活動、会社や学校など、「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、放射線のことを知って行動いただくお手伝いします。出前講座の開催をご希望の方は下記までご連絡ください。

※出前講座は、市民の皆さんが開催する集会や会合等に講師が出向き、様々なテーマを分かりやすく説明する講座です。会場の確保や催しの周知などはお申込者をお願いしております。

◇南相馬市教育委員会事務局 生涯学習課

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目 27

電話：0244-24-5249 ファクス：0244-23-3013



行動②測って自分の目で確かめよう

ご近所や知り合いから、地元の農産物などをいただくこともあるかもしれません。「もらったのはいいけど放射能濃度が心配だなあ」と感じる方もおられると思います。

そんな時は、



測ってみませんか？

食材の安全を確認してから、食べることで、健康不安の軽減にもつながります。



自家消費の農産物、水産物、畜産物などの放射能検査は市内公共施設で実施しております。詳細はQRコードのリンク先をご確認ください。

南相馬市ホームページ
「自家消費食品等の
放射線簡易分析受付」



行動③食べて応援しよう



買って
食べてみませんか？

市場に流通している県内産の米や野菜といった農産物や魚介類といった海産物などは、きちんと検査されており、安全な基準を満たしているものが売られています！

正式な手続きを踏んで店頭で並んでいる福島県産品を買って食べて、風評被害で苦しんでいる県内の生産者を応援してみませんか。

